

# 家庭学習の手引き

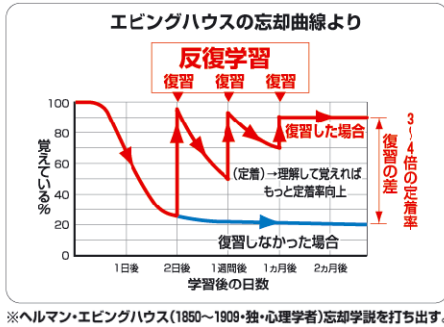
鹿児島市立東谷山小学校

小学校の学習は、将来子供たちが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校で子供たちの学力向上に取り組んでいくと同時に、学校と家庭が連携することで、学習内容がより確かに定着し、学力がより一層伸びていきます。この「家庭学習の手引き」をお子様と一緒にご覧いただき、学習の手助けとして御活用いただければ幸いです。

## 家庭学習の意義

### 1 家庭学習の定着

学校で学習したことを復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着します。宿題を必ずやり、時間があったら自主学習を行うことで、学校で「わかった」ことが、家庭での反復学習によって「できる」という自信になります。



### 2 脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に動くようになります。鍛えれば、鍛えるほど発達したくましくなって、脳がいろいろなことによく使えるようになります。



### 3 学ぶ習慣づくり

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身に付きます。毎日続けることで、やがて、当たり前になる習慣になり、少しずつでも継続することが大きな力につながります。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。



### 4 がまん強さ、根気、集中力をつける

家庭学習の最大の敵は、テレビやスマホ、ゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ちかつことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやスマホ、ゲームの時間を決めて学習や読書等の時間をしっかりと確保できるようにしましょう。



### 5 家族のふれあい

「本を読んでいる時、横で聞いてあげる」「勉強が分からない時、教えたり調べたりしてあげる」など、家庭学習をしている子供に親が関わることにより、コミュニケーションが図れます。家族のふれあいの機会が増えることは、子供の精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

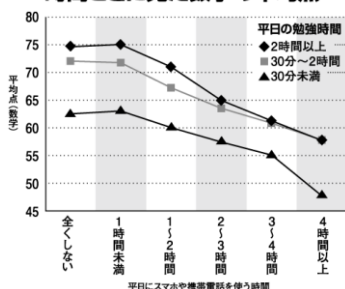


## 家庭学習のポイント

### 1 決まった時間に、毎日コツコツと行う

家庭学習は毎日続けることが大切です。習い事やお出かけ等で予定が組みにくい日もあると思います。そんな時は、先に済ませるとか、テレビやスマホ、ゲームの時間を少なくするなどの工夫も必要になってきます。家族で十分話し合い、実行してください。

スマホや携帯電話を使う時間ごとに見た数学の平均点



### 2 適切な時間で集中して学習

学力を伸ばすためには、集中して学習に取り組むことが大切です。長時間学習することで成果が上がるとは言えません。短時間で集中して勉強することが長続きのコツです。「学年×10分」をめやすにして集中して頑張ることを心掛けてください。

### 3 家庭学習をしている時は、テレビを消す

テレビを見ながら、おやつを食べながらの「ながら勉強」は効果が上がりません。また、見たいテレビの音が聞こえるような環境も子供は集中できません。静かな環境を作ることが大切です。



### 4 整頓された場所で、よい姿勢で学習する

整頓された机に向かって、よい姿勢で学習するようにしましょう。マンガやゲームなど、気の散るものが近くにあっては学習に集中できません。落ち着いて学習できる環境づくりを心がけたいものです。



### 5 子供の頑張りを認め、ほめて励ます

親や教師が、子供の頑張りを認め、ほめたり励ましたりすることにより、自信が付き、進んで学習しようという意欲が高まります。強制したり間違いをきつく叱ったりすることは逆効果です。



### 6 学力アップは規則正しい生活、準備から

「早寝・早起き・朝ご飯」は、生活リズムの原則です。こうした生活リズムを整えたり、前日に「明日の準備」をしたりすることが学力向上につながると言われています。学校でも家庭でも、生き生きと学習に取り組めるよう規則正しい生活や、学習用具の準備をしていきましょう。



## 家庭学習の進め方

### 1・2年生の学習

家庭学習の習慣を  
つけましょう

きまったじかんに つくえに  
むかって しゅくだいをする  
くせを つけましょう。

時間のめやす

**30分程度**

- しゅくだいをする。
- えんぴつをけずる。
- あしたのじゅんぴをする。

### 3・4年生の学習

自分から進んで  
学習しましょう

自分から進んで、しゅくだいに  
とりくみましょう。

時間のめやす

**50分程度**

- しゅくだいをする。
- 今日のふくしゅうをする。
- 明日のじゅんぴをする。

### 5・6年生の学習

計画的に  
学習しましょう

いつ、何を、どのように勉強す  
るのか、自分で考えて学習しまし  
ょう。

時間のめやす

**70分程度**

- めあて（時間、内容）を決めて  
計画的に取り組む。
- 家庭学習のふり返しをする。

具体的な家庭学習の仕方については、学年・学級だより等でお知らせします。

◆日記 ◆漢字 ◆音読 ◆宅習 ◆プリントなど

※毎月23日（原則）は、「子供といっしょに読書の日」です。

**年3回の「スタチャレ（スタディーチャレンジ）週間」で家庭学習の見直し（チェック）を行います。**

## ～おうちの方へ～

### 1・2年生のお子さんは…

- 頑張ったこと、よいところを大人にほめてほしいと思っています。
- 何にでも興味をもち、知りたがりです。
- 一人で学習することや、やり方を決めるのは、まだ難しいです。
- まだ自分中心で、まわりの人のことを考えて行動できないときもあります。



### ●勉強やお手伝いを習慣づけましょ

勉強やお手伝いをして家族からほめられたり、家族が喜ぶ姿を見たりして、子供は、家族の役に立ったことや自分の成長を実感し、学ぶことやお手伝いすることに喜びを感じます。その喜びが、次もやってみようという意欲につながります。まずは、子供のそばについて、子供の頑張りをしっかりと認めたりほめたりして、子供の意欲を高め、習慣となるようにしましょう。

### 3・4年生のお子さんは…

- 行動範囲とともに興味の範囲も広がり、好きなことに熱中するようになります。
- 大人に頑張ったことを認め、励ましてほしいと思っています。
- 自分でできることが増えますが、まだ大人の手助けが必要です。
- 集団で行動することを好むようになり、口答えも多くなります。



### ●認め、励まし、やる気を伸ばしましょ

子供は、自分が頑張ったことを認められたりほめられたりすることで、自分のよさに気づき、自信をもちます。そのためにも、子供のよいところや子供が何かをやりとげようと自分なりに頑張ったことを心から認め、ほめることが大切です。大人になり、様々な苦難にぶつかったとき、子供のときに認められることで子供の中に培われたものが、生涯にわたり心の支えとなります。

### 5・6年生のお子さんは…

- 得意な教科や苦手な教科を意識するようになります。
- 大人に一人前に接してもらいたいと感じるようになります。
- なんでも自分でやりたいと思っており、大人に口出しされるのを嫌がります。
- 周りからどう思われるかを気にし友達に合わせて行動しがちです。



### ●自分で決め、実行できるようにア

ドバイスをしましょう  
心と体の成長とともに、子供は自分で考え、行動しようとする傾向が見られるようになります。一方で、相手や周りのことを考えず自分勝手なふるまいをしてしまうこともあります。子供の自主的な行動を認めるとともに、その行動の影響などを子供が考えられるようにアドバイスをすることが大切です。